

今年度も 大分市立城南中学校 PTA 家庭教育学級 「kokomi (ここみ)」で学びました<後編>



【写真は保護者の質問に丁寧に答える佐藤校長先生】

・・・No,6からの続きです。

次に、我が子が「このような人になってほしい」という保護者の願いと、そのために、子ども自身が身に付けて欲しい力（資質・能力）について聞いてみました。

このような人になって欲しい (願う姿)	そのために身に付けて欲しい力 (資質・能力)
人の痛みがわかり、周りに助け、助けられながら生きていける力をもった人	何か問題があっても乗り越えられる力
困った人に手を差し伸べられる人	想像力、自分を大事にできる能力
自分の決めた道を進める人	他の価値を受け入れられる。 自分の思いを相手に伝える力
自分にも他人からも愛される人 大切にできる人	自分の意見を持つことは大事だけれど、人の意見もきちんと聴いて受け入れる力
何かにつづかって心が折れそうになった時でも立ち直れる人	自分は何に困っているのか、自分はどうしたいのか、誰に頼るのが良いか等、冷静に考える力
家族を幸せにできる人（大黒柱） 自分に自信がある人	子どもや家族を愛おしく思える心と、養っていきける能力
困った人を助けてあげられる人	相手の気持ちがわかるような力
人（友達）を大切に思い、人との関わりを多くもてる人	コミュニケーション能力
どんな事にも楽しみを見つけられる人	自分の思いをきちんと伝えることができる能力
新しいことや好きなことにチャレンジする人	いろいろな事に関心を持ち、人に聞き、学ぶ力
社会的、経済的に自立して幸せになってほしい	判断力、行動力、柔軟に対応する力

私の場合、我が子が中学生の頃は「テストで良い点を取って欲しい」「部活で活躍して欲しい」等目先の事ばかり考え、子どもに考えさせること無く、「ああしろ、こうしろ」と指示ばかりして、自ら学ぶような力を育てるような指導をしていなかったです。

「話す」は「放す」
心のストレスを外へ、放すことである

今回、参加された皆さんと共に、「子育ての最上位目標は何か」を考えながら、子どもが自立するために、子どもはどのような力（資質・能力）をつけるべきかを出し合いました。そして、そのような力を子ども自身がつけるために、我々大人は何をすべきかについて意見を出し合いました。

【ふりかえり】（一部抜粋）

- ・子どもの事を改めて考えられた貴重な時間を過ごせました。佐藤校長先生のお話を聞いて参加できてよかったです。子どもをほめるときの「事実+感謝+価値」を普段より気を注いで伝えたいです。
- ・校長先生がいろいろな質問に答えながら、保護者の思いを受け止めてくださりとてもよかったです。
- ・他の方の話しが聞いて良かったです。我が子の良いところをもう少し探してみようと思います。
- ・「正しいことは伝わりにくい」正しいことが正解ではなく、正しいことを楽しく伝えられるようにします。
- ・今日の話を聴いて、はやく子ども達に会って話しをしたいなと思います。ありがとうございました。
- ・いろいろあった後だったので、お話を聴けて良かったです。 ・いつも元気をもらえます。またよろしくお願いします。
- ・校長先生も困って楽しいお話を聴かせていただき実りある時間を過ごさせて頂きました。具体をほめる！思い出しました。
- ・久しぶりにほめる話を聞いて、忘れていたなあとと思うことが多かったです。繰り返しこのような場所で話していくことが大切だと思いました。 ・子どもとの関わりを通していろいろな人と繋がれます。私も意識して変わることが大切だと思いました。

